

大阪大谷大学・阪南大学・独立行政法人都市再生機構・富田林市の 4者で、エリア活性化に向けた包括連携協定を締結しました

2024年7月24日（水）、富田林市役所（富田林市常盤町）において、「大阪大谷大学と阪南大学、独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）、富田林市との金剛地区のエリア活性化に向けた包括連携協定」を締結しました。両大学が進める地域社会への貢献、地域連携、人的交流及び学生・社会人の学び、UR都市機構、富田林市が進める金剛地区の新たなまちづくりの実現に向け、4者が相互に連携し、協力することで、互いの発展と金剛地区のエリア価値向上に寄与し、地区住民の生活の質のさらなる向上を図るとともに、持続可能で活力と発展性のある地域社会の形成を目指します。



連携スキーム



包括連携協定の概要



左から、本学学長 浅尾広良、阪南大学学長 平山弘氏、UR 都市機構西日本支社 理事・支社長 高原功氏、富田林市市長 吉村善美氏

[リリース文はこちら >>>](https://www.osaka-ohtani.ac.jp/iz/uploads/files/172188465484870f1ad00cf707.pdf) <https://www.osaka-ohtani.ac.jp/iz/uploads/files/172188465484870f1ad00cf707.pdf>



包括連携協定の概要

名称：大阪大谷大学と阪南大学、独立行政法人都市再生機構、富田林市との金剛地区のエリア活性化に向けた包括連携協定

目的：両大学が進める地域社会への貢献、地域連携、人的交流及び学生・社会人の学び、UR・富田林市が進める金剛地区の新たなまちづくりの実現に向け、4者が相互に連携し、協力することで、互いの発展と金剛地区のエリア価値向上に寄与し、地区住民の生活の質のさらなる向上を図るとともに、持続可能で活力と発展性のある地域社会の形成を目指すことを目的とする

連携事項

- (1) 金剛地区の活性化に関すること
- (2) 金剛地区をフィールドとした課題解決に向けた実践的な教育・研究に関すること
- (3) 大学間の相互教育及び学生間の交流に関すること
- (4) その他本協定の目的を達成するために必要な事項に関すること